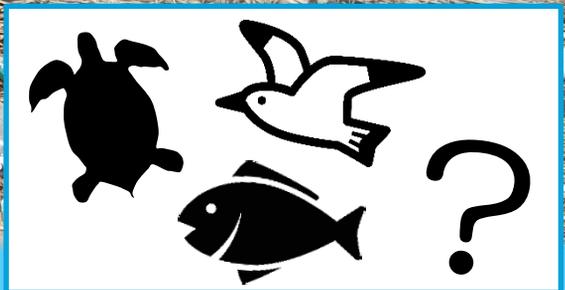


体験型 新入社員研修



清掃を続けているのに、
なぜごみはなくなるのだろう？

生き物にも影響が
あるってどういうこと？



現場で感じ、問題の本質と解決策を考える

- ◆ 継続的な活動を進めているが効果が見えないのはなぜか？
- ◆ 一見、直接つながると思えない現象を解決するにはどうすればよいか？

荒川のごみ清掃をモデルケースにして、身の回りで起きている問題の解決策をシステムシンキングを用いて考えるプログラムです。この問題に唯一の答えはありません。研修では課題設定から効果的な解決策まで、自らアプローチする手法を習得します。

原体験 × 社会課題

提供する価値

考え抜く人材の育成

「自ら課題を設定」

「自ら発信し行動する」

システムシンキングの手法で事象を構造化し、複雑化した社会課題にアプローチします。

システムシンキングとは、問題解決と意思決定を図解で行う論理的思考技術です。



荒川クリーンエイド・フォーラム
マスコットキャラクター
あらくりん



研修の流れ

趣旨説明 (まず動機づけ)

清掃体験 (ごみ拾い・ごみ調査)



5～6人のグループに分かれます。



調査カードを使って、種類別にごみを数えながら拾います。



集めたごみを一か所にまとめ、全体の集計をします。

屋内研修 (ワークショップ等)



清掃活動を振り返り、企業と社会のつながりについて考えるなど、課題解決・提案のプロセスをシステムシンキング手法を用いて実践します。



この研修プログラムのねらい

“記憶に残る社員研修”

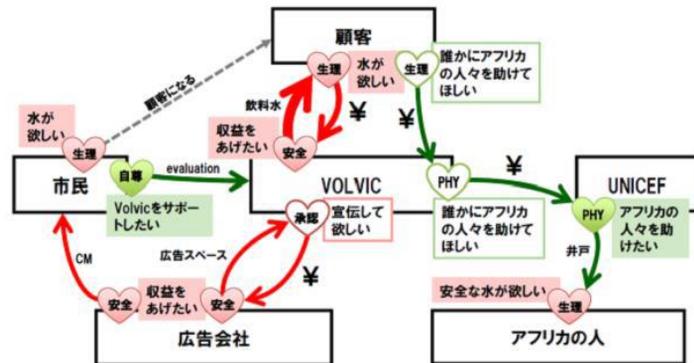
荒川クリーンエイド・フォーラムは荒川河川敷で20年以上河川ごみ問題に取り組んできました(動員数:20万人以上)。これまで一定の成果は上げてきましたが、問題の根本解決には至っていません。そこには川だけでなく海・魚や、人間の生活スタイルを含めた生態系全体を捉えて考える必要があります。

身近に経験できる社会課題『河川ごみ問題』をモデルにし、複雑な事象から自ら課題を設定して、負の循環を断ち切りイノベーションをもたらす人材の育成を目指します。

システムシンキングとは?

ロジックツリーを代表するような構造を“分解”する方法ではなく、要素間の関連を“系”として統合的に整理する思考方法です。

システムシンキングを用いることで、複数の要素が互いに影響を及ぼす構造を俯瞰して捉えたうえで、問題解決の糸口を見つけることができます。



欲求連鎖分析(WCA)
“Volvic 1L for 10L”の例

出典:「イノベーション対話ツールの開発」について科学技術・学術政策局産業連携・地域支援課大学技術移転推進室
http://www.mext.go.jp/component/a_menu/science/detail/_icsFiles/fieldfile/2014/06/02/1347910_1.pdf

研修の遂行にあたって

- 雨天時には屋内プログラムをご用意します。また、予備日の設定も可能です。
- 河川敷から屋内研修会場までの移動はチャーターバスの手配も可能です(別途見積り)。
- ご要望に応じて、屋内研修(ワークショップ等)のカスタマイズもいたします。

実施会場について

- 清掃体験は荒川河川敷で実施します。
- 屋内研修は、現地河川敷近辺の会議室を使用致します。ご希望により会場の調整は可能です。

まずは電話やメールでお問い合わせください

renraku@cleanaid.jp (担当:今村)

体験者の声

- 現場でのリアルな体験を屋内ワークショップで取り扱うことで、机上の空論にならずに取り組めた。
- 自分の行動も川ごみ問題の悪循環の一要素となっていることに気づかされた

特定非営利活動法人
荒川クリーンエイド・フォーラム
TEL:03-3654-7240 FAX:03-3654-7240
<http://www.cleanaid.jp>

